

公益社団法人日本畜産学会
Animal Science Journal のための論文投稿の手引き

Animal Science Journal のための論文投稿の手引きは、原稿執筆の際の指針として Animal Science Journal のための投稿規程を補うためのものである。

1. AIMS AND SCOPE (目的および分野)

Animal Science Journal (ASJ) に掲載する論文は、育種・遺伝、繁殖・生殖工学、栄養・飼料、生理・形態、畜産物利用、管理・行動、伴侶動物、野生動物、衛生（微生物、糞尿）、畜産経営などの分野に関連し、英文で書かれた論文とする。畜産学に関係しない医学、獣医学、薬理学、食品衛生、農業機械、水産科学などに関する論文の投稿は原則的には受け付けない。論文は会員、非会員を問わず投稿することができる。

2. ARTICLE CATEGORIES (論文のカテゴリー)

ASJ に掲載する論文のカテゴリーは、原著論文（一般論文 [Research Articles] もしくは短報 [Short Communications]）、技術報告 [Technical Notes] および総説 [Review Articles] とする。

2-1. 一般論文

独創的な研究に基づく新知見を含むものとする。

2-2. 短報

一般論文に準じる。ただし短報は、公表する価値のある内容を含みつつ、一般論文よりも情報が限定され簡潔なものとする。掲載する図・表を合計 3 つ以内とするとともに、原稿は、表紙・引用文献・図表を除いて 1,500~2,500 単語を目安とする。

2-3. 技術報告

畜産学および畜産現場に活用可能な新たな手順・方法・技術開発および仮説やそれらの改善に関する内容を主とする。引用文献数を 15 編以内とするとともに、原稿は、表紙・引用文献・図表を除いて 2,500 単語以内を目安とする。

2-4. 総説

編集委員会が依頼したものを主とするが、それ以外の投稿も受け付ける。

3. EDITORIAL REVIEW AND ACCEPTANCE (論文の査読および受理)

論文の受理は、畜産学上価値のある内容であるかに基づき判断される。原則として論文は 2 人の審査員と編集委員によって審査される。論文の採否は編集委員会が決定する。

論文はその分野に特に精通していない読者にもわかるように書く。論文が学術的な観点から ASJ に受理可能であると判断された場合でも、編集委員と出版社は読者に誤解を与えられる箇所や、同じ内容の繰り返しなどについて修正することがある。もし修正すべき箇所があまりに多い場合には、論文は要修正として著者に戻される。

4. SUBMISSION OF MANUSCRIPTS (論文の投稿)

原稿はすべて ScholarOne Manuscripts のオンライン投稿査読システムで受け付ける。

URL : <http://mc.manuscriptcentral.com/asj>

著者との連絡は e-mail を使用して行われるため、著者は必ず e-mail アドレスを記入する。投稿の際、カバーレターと論文本体（それぞれ Word か rtf 形式で保存したもの）のファイルは分け、カバーレターは審査用原稿に含めないようにする。

ASJ に投稿するすべての論文はこの手引きに沿って作成されたものでなくてはならず、沿っていないものは返却もしくは受理後の出版が遅れる場合がある。

- ・ダブルスペースで作成する。
- ・A4 サイズの用紙を縦方向に使用し，上下左右とも 30mm以上の余白を設ける。
- ・連続したページ番号を右上に記入する。
- ・行番号はページごとに付け，左側の余白に記入する。
- ・同一段落内の行の最後には改行を入れない。
- ・ハイフンは内容を理解する上で必要な場合に限り用いることとし，自動ハイフネーション機能は使用しない。
- ・キーボードにない記号を用いる場合には，説明を加える。
- ・1(数字)のかわりに l(英字)を，0(数字)のかわりに O(英大文字)を， β (ギリシャ文字)のかわりに B(ドイツ語)を用いない。
- ・表中，各数値データの間はスペースではなく，タブを用いて間隔をあける。Excel を利用する場合には 1つのデータを 1つのセルに入力する(セル内で改行しない)。
- ・タイトルページ(表題，著者名，所属機関名とその所在地，略表題を含む)を第 1 ページとし，要約およびキーワードを第 2 ページとする。第 3 ページより緒言以下の本文を作成する。
- ・図は，1つについて 1つのファイルを作成し，ファイル名で図の番号がわかるようにする。投稿時は，その後の審査過程でのファイルのやりとりが容易になるよう，JPEG あるいは BMP 形式で保存した低解像度のファイルを用いる。その際，最後に ScholarOne Manuscripts によって作られる PDF ファイルで図の鮮明度を確認する。論文が受理された後は，EPS あるいは TIFF 形式で保存した高解像度(600 dpi 以上)のファイルをあらためて提出する。解像度の低いファイルは最終版の作成に使用できない。

さらに注意すべき点については ScholarOne Manuscripts サイトを参照のこと。

4-1. ORCID

出版過程において著者をサポートするために，本ジャーナルでは，論文投稿時に投稿作業を行う著者(のみ)に ORCID ID の登録を義務付けている。この作業は 2 分程度で終了する。詳しくは(<https://authorservices.wiley.com/author-resources/Journal-Authors/submission-peer-review/orcid.html>)を確認すること。

4-2. Covering Letter (カバーレター)

カバーレターには下記のことを明記する。

- ・論文の内容が他に投稿中もしくは他で出版されたものではないこと，すべての著者が論文の内容に明らかに貢献していること，ならびにその内容に合意していることを明記する。
- ・著者は，研究費の助成を受けた場合の助成先を，また，利益相反の有無あるいは可能性を生じうる場合はその旨を明記する。
- ・もし他のソースから図表を引用する場合は，その著作権を有する者(通常出版社)から使用許諾を得ていることをカバーレターに明記する。

4-3. Article Preparation Support (英文校閲のサポート)

英語を母国語としない著者は，投稿の前に英語を改善するためにプロの校閲を受ける機会がある。出版社サイト(<http://wileyeditingservices.com/en/>)で確認をすること。サービスは有料で，手続きのすべては著者が申込みを行う。この Wiley の英文校閲サービスの利用は，本ジャーナルでの受理を保証するものではない事に注意すること。

4-4. Author Material Archive Policy (投稿資料の取扱について)

論文が受理された後に，投稿時に送付した原稿や図表などの返却を求める場合は，その旨を編集事務局に申し出る。特に返却の申し出がない場合，出版社は論文出版後 2 ヶ月ですべてを処分する。

5. ETHICAL CONSIDERATIONS (倫理的配慮)

著者はその研究がそれぞれの機関のガイドラインに従って行われたものであり，ヘルシンキ宣言の規

程に準拠していることを明記しなくてはならない。ヒトや動物を用いた研究が倫理に反していると判断した場合には掲載を拒否することがある。

動物を使用した実験については、動物倫理に十分な配慮が払われ、動物実験のガイドラインにしたがい機関の承認を得て行ったことを明記しなくてはならない。

6. CONFLICT OF INTEREST (利益相反)

著者は、論文中の主要な成果あるいは競合製品の製作といった特定の企業から財政的支援あるいは共同関係に基づいている場合、論文を投稿する段階で利益相反について宣言しなければならない。すべての著者が、利益相反について宣言する必要がある。 <http://www.icmje.org/conflicts-of-interest/>にて標準書式を入手して必要事項を記入した上で提出する。この書類は、論文投稿時に ScholarOne Manuscript にアップロードすることが可能である。利益相反に関する宣言書は提出する必要がある。以下の記載例のように論文の中に含まれることになる。

(以下、記載例)

Author A. Y. (Initial) was supported by grants or donations from xxx etc., author A. Y has a leadership role in a private company, author B. Y and C. Y owns stock of xxx etc., and author D. Y has a patent for xxx. (If you have other potential Conflict of Interests, please list here by name) Author E. Y received devices from xxx. The funding for this study was provided by xxx. (When the funding source had no role in the design, practice or analysis of this study, please put the next sentence here): The funding source had no role in the design, practice or analysis of this study.

もしくは

Authors declare no Conflict of Interests for this article.

7. DATA SHARING and ACCESSIBILITY (データの共有およびデータへのアクセス)

本ジャーナルは、論文での結果をサポートするデータやそのほかの図表を、適切な公共のレポジトリにアーカイブして共有することを推奨する。著者はデータへのアクセスに関し言及しなければならない。また、その言及を論文と一緒に出版することができるように著者が利用したレポジトリへのリンクを含める。

8. COPYRIGHT, LICENSING, ONLINE OPEN (著作権、ライセンスおよびオンラインオープン)

出版に際し ASJ に論文を掲載する著者(全員)は著作権に関する書類に署名しなければならない。責任著者へ著者サービス (Author Services) についての案内メールが送信されるので、著者サービスへログインし、Wiley Author Licensing Service (WALS) にて著作権同意書 (Copyright Form) を提出する。

・ **OnlineOpen-`Gold road` Open Access.** OnlineOpen を希望した場合は、Creative Commons License に基づき Wiley Online Library 上で著者らの論文は自由に閲覧可能となる。さらに、OnlineOpen となった論文は、出版後ならばいつでも著者らによって PDF ファイルを Web 上にアップすることが可能となる。OnlineOpen 即ち論文を `gold road` の open access 化するには、著者あるいは研究資金支給機関あるいは著者が所属する研究機関が手数料を支払うのが確実である。

・ **OnlineOpen licenses.** OnlineOpen を選択した著者は、下記の Creative Commons License Open Access Agreements (OAA) から Form を選択して署名し提出する。

- ・ Creative Commons Attribution License OAA
- ・ Creative Commons Attribution Non - Commercial License OAA
- ・ Creative Commons Attribution Non - Commercial - NoDerivs License OAA

著作権 (Copyright) に関する質問は下記を参照のこと :

9. STYLE OF THE MANUSCRIPT (論文の様式)

- **Spelling (綴り)**: 英文はアメリカ英語 (使用辞書: Merriam-Webster's Collegiate Dictionary 最新版) で作成する.
- **Units (単位)**: 原則として SI あるいは SI 組立単位を用いる.
(例) h (時間), min (分), s (秒), °C (摂氏), mmHg, Hz, ml, mol/L, *g* (重力), 00:00 hr (時刻)
- 数値と単位との間は, %と°Cを除き, スペースをとる. (例) 7 min, 10 mmol/L, 25%, 37°C
- **Abbreviations (略語)**: 使用することにより読者が読みやすくなる場合に限り使用する. 最初に使う箇所で正式名称を記し, () 内に略語を示す.
- **Trade names (商品名)**: 化学物質名は一般名を用い, 商品名は用いない. 試薬名もブランド名ではなく一般名を用いる. 商標登録された試薬を用いた場合は, その試薬の一般名を記載し, 括弧内に商標登録名, メーカー名, その所在地を記載する.
- **Scientific names (学名)**: タイトル, 要旨, 本文中で最初に使われる時は一般名とともに括弧内に学名 (属, 種, 固有種名) を記載する. よく知られた種についてはタイトルから学名を省略しても良い. もし一般的な英語名が存在しない場合は, 科学的な固有種名のみを用いて記載する. ラテン語系副詞および慣用語, 学名 (動物, 植物, 微生物の種名に限る) はイタリックで表記する.

10. PARTS OF THE MANUSCRIPT (論文の構成)

論文は以下の順からなる. (i) タイトルページ, (ii) 要旨とキーワード, (iii) 本文, (iv) 謝辞, (v) 利益相反, (vi) 引用文献, (vii) 図の説明, (viii) 表 (各表はタイトルや脚注も含む), (ix) 図, (x) 和文抄録 (日本人著者の場合のみ) および (xi) 補足情報. 本文中では脚注は使用せず, 必要な場合は本文中に括弧を用いて記載する.

10-1. Title page (表紙)

タイトルページには次の事項を含める. (i) 論文の表題, (ii) 論文カテゴリー, (iii) すべての著者名 (フルネームで), (iv) 研究が行われた所属機関とその住所, (v) 責任著者の e-mail アドレス. 一部の著者の現在の所属が, 研究が行われた当時と異なる場合はその旨脚注に記載する.

表題は主要なキーワードを含み, 論文の内容を端的に表すようにする. 表題には略語を用いない. 50 語以内とする.

10-2. Abstract and Key words (要旨およびキーワード)

要約は, 目的, 方法, 結果, 結論の要点を簡潔明瞭に表現し, 200 語以内とする. 要旨の下には 5 個以内のキーワードを記載する. キーワードは, 論文の内容や研究分野を示す言葉を吟味して選択し, 余りにも一般的なものの使用は避け, アルファベット順に並べる. (例) Ca は Calcium metabolism, Calcium intake など, Protein は Protein synthesis, Milk protein などとする.

10-3. Text (本文)

原著論文においては, 原則として小見出し (Introduction, Materials and Methods, Results ならびに Discussion) をつける. ただし, 分野や内容に応じて小見出しを調整できる (例えば, Methods のみ, Results and Discussion も許容する). 技術報告ならびに総説については, 内容に応じた適切な小見出しを付ける. 小見出しの調整が必要な場合は, 編集委員会で判定する.

10-4. Acknowledgments (謝辞)

産業界との連携, 提携, 研究助成金の授受, 研究者ならびに研究機関の援助を受けた場合は謝辞に記載する. 個人的な謝意や審査員に対する謝意は記載しない.

10-5. Conflict of interest (利益相反)

利益相反の有無，有の場合はその内容について明記する。

10-6. References (引用文献)

論文の引用は Wiley' s APA Style に従って記載する。すなわち，本文中の引用箇所には，引用先が明確になるよう著者の姓と年号を (Jones, 1998) のように記載する。引用文献のリストは，筆頭著者の姓をアルファベット順に並べて論文のうしろに配置する。

引用リストの最も一般的な入力法のサンプルを以下に示す。DOI は，利用可能なすべての引用に対して提出する必要があることに注意する。詳細については，Wiley の APA リファレンススタイルを参照すること。ジャーナル記事の場合，巻の各号が 1 ページ目で始まっていない限り，号番号は含まれないことに注意する。

・論文

著者が 2 名以上 7 名以下の場合

(例) Beers, S. R., & De Bellis, M. D. (2002). Neuropsychological function in children with maltreatment-related posttraumatic stress disorder. *The American Journal of Psychiatry*, 159, 483-486. <https://doi:10.1176/appi.ajp.159.3.483>

(例) Ramus, F., Rosen, S., Dakin, S. C., Day, B. L., Castellote, J. M., White, S., & Frith, U. (2003). Theories of developmental dyslexia: Insights from a multiple case study of dyslexic adults. *Brain*, 126(4), 841-865. <https://doi:10.1093/brain/awg076>

著者が 7 名を超える場合

(例) Rutter, M., Caspi, A., Fergusson, D., Horwood, L. J., Goodman, R., Maughan, B., ... Carroll, J. (2004). Sex differences in developmental reading disability: New findings from 4 epidemiological studies. *Journal of the American Medical Association*, 291(16), 2007-2012. <https://doi:10.1001/jama.291.16.2007>

・単行本

(例) Bradley-Johnson, S. (1994). *Psychoeducational assessment of students who are visually impaired or blind: Infancy through high school* (2nd ed.). Austin, TX: Pro-ed.

・単行本中の章あるいは参考書の見出し

(例) Author, A. A., & Author, B. B. (1995). Title of chapter or entry. In A. Editor, B. Editor, & C. Editor (Eds.), *Title of book* (pp. xxx-xxx). Location: Publisher.

(例) Author, A. A., & Author, B. B. (1993). Title of chapter or entry. In A. Editor & B. Editor (Eds.), *Title of book* (pp. xxx-xxx). Retrieved from <http://www.xxxxxxxxxx>
Author, A. A., & Author, B. B. (1995).

(例) Title of chapter or entry. In A. Editor, B. Editor, & C. Editor (Eds.), *Title of book* (pp. xxx-xxx). doi:xxxxxxxxxx

・書籍 (紙媒体)

(例) Shotton, M. A. (1989). *Computer addiction? A study of computer dependency*. London, England: Taylor & Francis.

・書籍 (電子媒体)

(例) Shotton, M. A. (1989). Computer addiction? A study of computer dependency [DX Reader version]. Retrieved from <http://ebookstore.tandf.co.uk/html/index.asp>

(例) Schiraldi, G. R. (2001). The post-traumatic stress disorder sourcebook: A guide to healing, recovery, and growth [Adobe Digital Editions version]. doi:10.1036/0071393722

・書籍 (電子版のみ)

(例) O'Keefe, E. (n.d). Egoism & the crisis in Western values. Retrieved from

<http://www.onlineoriginals.com/showitem.asp?itemID=135>

・再版本の電子版

(例) Freud, S. (1953). The method of interpreting dreams: An analysis of a specimen dream. In J. Strachey (Ed. & Trans.), The standard edition of the completed psychological works of Sigmund Freud (Vol. 4, pp. 96-121). Retrieved from <http://books.google/books> (Original work published 1900)

・特許

本文中へは特許の名称と発行日（出願日ではない）を記載する。引用文献リストには、発明者および発明内容を照会可能な公的な情報源を入力する。

(例) *Reference list entry*: Smith, I. M. (1988). U.S. Patent No. 123,445. Washington, DC: U.S. Patent and Trademark Office.

・巻号未定の原著論文

オンライン上で公開済みであるもののまだ巻号頁が付与されていない原著論文については、Digital Object Identifier (DOI)による記載が可能である。DOIは、論文に巻号が付与された後も変わることはないため、論文を検索する際に有効である。

(例) Abe H, Takeuchi H. 2012. Characterization of the intronic VNTR polymorphisms found in a paralog of chicken serotonin transporter gene. *Animal Science Journal*. 2012, doi: 10.1111/asj.12011

・電子情報

(例) National Center for Biotechnology Information (NCBI). 1999. Nucleotide-nucleotide BLAST (blastn) [homepage on the Internet]. National Center for Biotechnology Information, Bethesda, MD; [cited 13 December 2002]. Available from URL: <https://blast.ncbi.nlm.nih.gov/Blast.cgi>

・博士論文

(例) Suzuki, Y. 2016. Study on the physiological functions of two endocrine factors derived from the liver, ANGPTL8 and Chemerin, in Ruminants. Ph.D. Thesis, Tohoku University, Sendai, Japan.

10-7. Figure legends (図の説明)

図の説明は、本文を参照しなくても理解できるよう、独立したファイルに番号順に記述する。記号、略語および単位についてもわかるように記載する。

10-8. Tables (表)

表の説明は、同一のシートに本文中の記述と重複しないように記述する。表にはそれぞれアラビア文字で通し番号を付ける。表のタイトル、説明は本文を参照しなくても理解できるように記述する。列と列の間は縦線で区切らない。列または行の見出しは簡潔に表現し、括弧内に単位を記載する。すべての略語の説明は脚注に記載する。脚注で用いる記号の順は †, ‡, §, ¶ とし, *, **, *** は P 値を示す時のみに使用する。統計的誤差が標準偏差 (SD) であるか標準誤差 (SEM) であるかどうかは、行または列の見出しにわかるように記載する。

10-9. Figures (図)

カラーの図の掲載は課金されません。すべてのイラスト（線画や写真）はすべて図として扱う。図は通し番号の順に本文中で引用する。図の大きさは 80.5 mm, 112 mm, 168 mm のいずれかの幅に収まるように作成する。写真の縮尺はスケールバーを用いて図中に記載する。

線画は明瞭かつ白黒で、コンピューターソフトを用いて作成する。文字は図中に挿入し、本文に用いられる文字の大きさを超えないものとする。

10-10. 和文抄録

和文抄録の記載は表題、著者名、所属機関名とその所在地、抄文（600字程度）の順とする。和文

抄録は日本畜産学会報に別掲され、ASJ には掲載しない。ただし、著者全員が日本語を解さないなど、著者による和文抄録の作成が不可能な場合は和文抄録を省略することができる。別掲される和文抄録の掲載費用は日本畜産学会の負担とする。

10-11. SUPPORTING INFORMATION (補足情報)

補足情報(電子資料)の利用は、重要であるが補助的な情報を提示する上で有効な方法である。補足情報として、追加の表、データ、図、動画ファイル、音声ファイル、立体構造、その他補足的なマルチメディア・ファイルを添付できる。

補足情報は説明文を記載した上で、本文中に引用されていなければならない。投稿論文の一部として同様に審査に付される。

受理された論文が公開される際、補足情報については校正過程を経ず著者が作成したものがそのままアップロードされる。

- ・補足情報の番号は下記のようにつける。

Fig. S1, Fig. S2, . . . , Table S1, Table S2, . . . , Doc. S1, Doc. S2

- ・補足情報の図表のタイトルおよび説明文は、それぞれの図表ファイルに含める。
- ・それぞれのファイルのサイズは5MB以下にする(動画についてはそれを越えても可)。
- ・著者自身のウェブサイトを補足情報としては使用できない。

補足情報の数に制限はないが、多すぎる場合は編集委員会が削減を求めることがある。

補足情報の条件についての詳細は、<https://authorservices.wiley.com/author-resources/Journal-Authors/Prepare/manuscript-preparation-guidelines.html/supporting-information.html> を参照のこと。

11. WILEY AUTHOR SERVICES (Wileyによる著者サービス)

著者サービスにより、著者は受理後の論文が出版されるまでの過程を追跡することができる。また、著者には、出版に至る過程で論文が現在どのような状況にあるかについての e-mail が自動的に送付される。このサービスに関する更なる情報や FAQ、論文作成や投稿の手引きについては、(<https://authorservices.wiley.com/home.html>)を参照のこと。

12. PROOFS (著者校正)

責任著者は出版過程での連絡のために e-mail アドレスを登録する必要がある。

校正段階で不明瞭な箇所がある場合は、e-mail にて Word ファイルが送られるので、確認して出版社に返信する。メールに記載されている修正方法とファイルの返信方法に従う。

著者らには、オンライン上で原稿の校正を行うために必要なリンク先と手引きが e-mail にて通知される。タイプミスなどがどうか細心の注意をもって校正作業を行う。校正ガイドラインはオンライン上のシステムから閲覧できる。校閲のための特殊なソフトウェアは不要であり、一般的な閲覧ソフトで対応可能である。著者らは、番号を振り直した図表や引用文献などが本文中に記載されている実際の図表や引用リストの文献番号と正確に一致しているかどうか確認する必要がある。原稿の校正は、e-mail を受信後 48 時間以内に対応しなければならない。オンラインシステムが使えないあるいはアクセスできないなどの不備があった場合は、校正した原稿を e-mail により返送することも可能である。

13. eLocators (e-ロケーター)

本ジャーナルは e-ロケーターを採用している。詳しくは、著者サービスの e-ロケーターのページを参照。

14. PAGE CHARGES (掲載料)

会員からの投稿 (筆頭著者または責任著者が会員である場合)

一般論文・短報・技術報告・総説(投稿) : 1 論文 40,000 円.

非会員からの投稿 (筆頭著者, 責任著者ともに非会員である場合)

一般論文・短報・技術報告・総説(投稿) : 1 論文 80,000 円.

上記の料金には消費税がかかる (国内からの投稿・支払時に限る).

* 会員からの掲載料は 2021 年 1 月 1 日投稿分 (ASJ-2021-から始まる論文番号) より適用.

15. OFFPRINTS (別刷り)

責任著者には原稿の PDF ファイルが無料で配布される. この特典を受けるためには, Wiley の著者サービスに登録すること. 別刷りを希望する場合は, 著者負担で最低 50 冊から提供される.

16. ONLINE OPEN –Wiley’ s Open Access Option (Wiley オープンアクセスオプション)

OnlineOpen は, クリエイティブコモンズライセンスの下で Wiley OnlineLibrary のすべての人が記事を自由に利用できるようにしたい記事の作成者が利用できる. OnlineOpen を使用すると著者, 著者の資金提供機関または著者の機関は, 記事がオープンアクセスになるように料金を支払う. OnlineOpen 記事の作成者は, 記事の最終的な公開 PDF を個人の Web サイトおよび公開直後に機関リポジトリまたはその他の無料の公開サーバーに投稿することができる. すべての OnlineOpen 記事は, 他の記事と同じように扱われる. 彼らはジャーナルの標準的な査読プロセスを経て, 彼ら自身のメリットに基づいて承認または却下される.

OnlineOpen ライセンス. OnlineOpen を選択した著者は, 記事の著作権を保持し, 次のクリエイティブコモンズライセンス条項に基づいて公開することを選択できる. クリエイティブコモンズ表示ライセンス (CC BY). Creative Commons Attribution Non-Commercial License (CC BY NC) ; Creative Commons Attribution Non-Commercial-NoDerivs License (CC BY NC ND). これらのオープンアクセス契約の利用規約をプレビューするには, 著作権の利用規約に関するよくある質問を参照.

1995. 1. 1 制定
1998. 7. 25 改正
1999. 10. 10 改正
2001. 11. 23 改正
2002. 7. 13 改正
2006. 3. 28 改正
2007. 2. 10 改正
2009. 1. 12 改正
2012. 1. 28 改正
2013. 1. 26 改正
2014. 1. 25 改正
2016. 6. 25 改正
2018. 3. 28 改正
2020. 1. 25 改正
2020. 6. 27 改正
2020. 6. 28 施行
2021. 1. 23 改定
2021. 1. 1 施行